

住民自治組織等に係る中間支援等業務公募型プロポーザル選定委員会
議事録（議事要旨）

項 目		内 容
1	日 時	令和6年3月25日 10:00~12:00
2	場 所	WEB
3	出席委員	地域政策局中山間地域振興担当部長 環境県民局環境総務課長 健康福祉局地域共生社会推進課長（代理：同課参事） 地域政策局交通対策担当課長（代理：同課主査） 地域政策局中山間地域振興課長
4	議 題	住民自治組織等に係る中間支援等業務の実施予定者選定
5	担当部署	中山間地域振興課
6	開催方法	参集（オンライン）
7	議事内容	<p>得点の最も高かった事業者を選定することに委員からの異論はなく、業務の実施予定者を公益財団法人中国地域創造研究センターに決定した。</p> <p>なお、審査基準を踏まえた主な総括意見は下記のとおり。</p> <p>【みらい株式会社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落に対する伴走支援について、地域振興の要素からの提案をより強く感じ、集落の状況に応じた対応がなされるかに課題を感じた。 ・県内中山間地域の課題や併走支援のプロセスについて具体的で実効性が感じられる。一方で専門人材の育成において目指すレベル感や運用など具体性に乏しい。 ・中山間地域での人づくりや地域支援実績・ノウハウを活用したワークショップやセミナーが期待できそうである。 ・小さなアクションという独自の着眼点が良い。県内の体制や大学との連携なども評価できる。 ・県内のカバー体制が整っており、安定した業務運営が期待できる。その一方で、ポジティブな面に軸足が置かれており、地域の小さな活動でさえ困難になっている地区に対応できるか不安が残る。 <p>【株式会社さとゆめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落に対する伴走支援について、地域振興の要素からの提案をより強く感じ、集落の状況に応じた対応がなされるか、時間外休日等の十分な対応に課題を感じた。

- ・HIS 等大手企業と連携した事業化支援などはとても具体的であるが、全国パッケージ的な成功事例創出的な提案であり、広島県の中山間の特性、フェイズを踏まえた具体的で実効性のある提案となっていない。
- ・地域外の人材や民間企業を活用する手法が特徴的である。地域視点として「攻め、守り、新規」の3点のバランスを考慮している視点も興味深い。キーパーソンの掘り起しと地域への継続的な伴走の実現性が鍵となると思われる。
- ・他県の知見を持っていることは評価できるが、それを踏まえた提案の独自性が見えにくい。県内の実施体制が弱い。
- ・地域課題如何に関わらず、攻めと守りの要素をバランスよく取り入れた提案となっている。その一方で、提案内容は、伴走支援の先におけるステップに重点が置かれており、実現可能性に疑問が残る。

【公益財団法人中国地域創造研究センター】

- ・集落が様々な状況にあることを想定した伴走支援の提案がなされており、適切な業務遂行が可能と考える。
- ・類似、関連事業の受託実績のアドバンテージを活かした、地域の現状・課題を踏まえた具体性、実効性の高い提案となっている。一方で、実績の殆どは調査業務であり、事業化等の伴走支援については進捗管理が必要ではと感じた。
- ・直近3年間で合計200以上の住民自治組織対象の調査実績、調査に関与したスタッフが対応することとなっており、地区・集落に寄り添った業務実施が期待できる。人材不足が進む中、現在の住民を広く巻き込んでいく着実な手法が期待される。
- ・提案内容のボリュームが多く厚みを感じられる。
- ・伴走支援の進め方が明確であり、かつ、専門人材の具体像が具体的に提案されており、業務の安定的な遂行が期待できる。